

## 2024 年度定例総会にあたって ～愛知県吹奏楽連盟 理事長挨拶～

2024 年 4 月 27 日(土)

愛知県吹奏楽連盟 理事長 齋藤 和憲

昨年(2023)年の 5 月に、新型コロナウイルス感染症が 2 類から 5 類へ移行され、2023 年度の愛知県吹奏楽コンクール等の連盟事業は、コロナ禍前と同じレベルで開催することができました。各大会におきましては、コロナ禍前以上に観客の皆様が会場にお越しいただき、盛況の中で一年間を終えることができました。役員の皆様方、関係者の皆様方に感謝いたします。

ここで、2023 年度当初に活動の中心として掲げた以下の 3 点について振り返ります。

### ① 新しい吹奏楽活動の研究推進

2023 年度の事業を通して強く感じたのは、さまざまな事業に多くの「大人の吹奏楽愛好家」にご参加いただいたことです。大人の皆さんが、コロナ禍前以上に吹奏楽を求めていることを実感しました。今後も引き続き、時代のニーズに合った新しい発想での事業運営の在り方を模索し、実践していきたいと考えています。

### ② 愛知県吹奏楽連盟の財政健全化

各種事業で支出を抑える中、観客動員数等が好調で収入が増え、財政が安定してきました。特に大学・職場・一般部門は、三年間で予定していた財政再建計画が二年間で目標に達しました。連盟全体として「財政の健全化」は順調に進みました。

### ③ 学校吹奏楽の地域移行への対応

2023 年度に新設した地域移行対策委員会を中心に、情報収集や地域移行だよりの発行・情宣に尽力してきました。11 月には、県内の中学校・高等学校全加盟団体に対して活動の実態アンケートを実施し、現状の把握に努めました。その集計結果から、部活動は中学校・高等学校とも「働き方改革」の下にどんどん縮小され、中学校では近い将来に廃止されてしまう方向に進んでいるという現状です。

2024 年度は「少子化」「教員の働き方改革」の名の下に、さらに学校部活動が制限を受けることが明白です。特に中学校における休日の部活動については、ここ数年で廃止されることになると考えられます。すでに県内の市町村では、休日の部活動廃止の期日を公表しているところが増えていきます。

地域移行推進期間初年度の 2023 年 6 月に、愛知県・愛知県教育委員会から「部活動の地域移行・地域連携の進め方に関するガイドライン」が提示されました。県内の多くの市町村では部活動をそのまま地域に移行する動きよりも、今の部活動の形を生かしながら指導者を学校の教員から外部指導者に移していく等の「地域連携」の形が多く見受けられます。この動きからも分かるように、地域での受け皿を整備するために「人・金・物」が必要となっており、現状では困難が多いのです。しかし「待ったなし」で地域移行は進められます。

愛知県教育委員会では2024年5月から人材バンクの開設・運用を開始します。また、文化部の地域移行モデル事業（県教委あいちの学び推進課）は、9市町（2023年度）から13市町（2024年度）と規模を増やして実施する予定です。愛知県吹奏楽連盟は、これらの県教委の動きと連携しながら活動していきます。

愛知県吹奏楽連盟では、これまで、小・中学校部門、高等学校部門、大学・職場・一般部門の三つの部門連盟を縦軸、マーチング委員会、イベント委員会、セミナー委員会、地域移行対策委員会、全国大会実行運営局、事務局と会計局を横軸として、縦軸と横軸が有機的に関わりあいながら活力ある活動を実践していくことに加えて、吹奏楽指導者の年齢を超えた柔軟な発想（斜めの軸）により「新しい吹奏楽活動」の研究・実践を試行錯誤しながら行ってきました。

今年度は、この取組を各市町で展開できるような仕組みを、それぞれの市町の特徴に合った形で推進することが求められると思います。そのためには、各市町に吹奏楽活動コーディネーターの存在が不可欠です。そのような人材の発掘と、連携と研修等を行うことが必要になってきます。そして、愛知県吹奏楽連盟がこの活動をけん引していくように努力いたします。

これらの取組を多くの方々に理解していただくために、ホームページによる情報発信、とりわけ加盟団体へダイレクトに情報を提供するために「愛知県吹連だより」を作成して情宣に努めます。また、さまざまなメディアへの働きかけにも力を入れていきたいと思えます。詳しくは、2024年度活動方針をご覧ください。

愛知県吹奏楽連盟では、会長を愛知県教育委員会教育長にお務めいただいています。2024年度も引き続き、愛知県吹奏楽連盟の活動等を理解していただくために県教育長訪問を予定しています。この困難な時期に、愛知県吹奏楽連盟の活動をスムーズに遂行できるのは、愛知県教育委員会教育長に会長職をお引き受けいただけるからこそです。私たちの活動を、より一層ご理解いただけるように、きずなを深めていきたいと考えています。

最後になりますが、当連盟がここまで成長できたのは、各加盟団体構成員と指導者の皆様の熱意によるものであり、そのことに深く感謝いたします。同時に、これほどの規模に達するまで支え続けていただいた役員・先輩諸氏のご努力に、心より敬意を表したいと思います。さらに、関連して支援していただいた全ての関係者の方々に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

吹奏楽活動にとって受難の時代になりましたが、愛知県吹奏楽連盟の目的である『吹奏楽による音楽普及向上を図り、文化の発展に寄与すること』の意味を改めて考えることで、更なる充実・発展を目指すことを決意するとともに、皆様方のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げまして、2024年度冒頭での挨拶といたします。